

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

権利擁護／虐待防止 事例検討編 ③「意図的な虐待行為」と「非意図的な虐待行為」

事例（Aスタッフのことば）

Aスタッフは高齢者施設での介護経験が豊富で、即戦力として期待されて中途採用されました。Aスタッフ自身もそのことを十分に理解し、この施設のやり方を早く覚えようと取り組むほか、人懐っこい性格も駆使して、他のスタッフや利用者とも積極的に関わり信頼関係の構築に取り組んでいます。

Aスタッフは新しく入所してきたBさんの担当になりました。Bさんには子がいません。夫が亡くなった後はずっと一人で暮らしてきました。

Aスタッフは相談員から簡単な引き継ぎを受けた後、Bさんの居室に行き、Bさんに向き合って「Bさん、今日からよろしくお願ひしますね」と挨拶しました。そして、ベッド横の床頭台に置いてある写真立てを指さし、「この写真はBさんの息子さん？」と質問しました。そのとき、Bさんの表情が一瞬くもりましたが、そのことにAスタッフは気がつきませんでした。Bさんが「いいえ、夫です」と答えると、Aスタッフは思わず「あっ！ そうだったそうだった。お子さんがいないって聞いていました。若いからてっきり息子さんかと思っちゃった！ あはは」と言ってしまいました。「早くに夫を亡くしましたので……」と話すBさんに「あー、そうだったんだ。でも、イケメンの父さんだわ」と言いました。

Aスタッフは、その後も訪室のたびに写真に向かって「父さん、待っててね。これから母さんを食事に連れて行きますから」と言ったり、「父さん、母さんをレクに連れて行きます。お留守番、よろしくお願ひします」などと話しかけました。

またBさんに対しても「父さんがあの世で心配しないようにリハビリがんばろうね」と言ったり、「今日は一杯食べたねー、きっと父さんもあの世で喜んでるよ」と言ったりしました。

ある日、Aスタッフがいつものように写真に話しかけて、「さあ、レクに行くよー」と言うと、突然Bさんから「あなたに夫のことを父さんなんて気安く呼ばれる筋合いはない！」と大声で怒鳴られてしまいました。

- 1) この事例における意図的な虐待行為は何だと思ひますか？
- 2) この事例における非意図的な虐待行為は何だと思ひますか？

- 1) この事例における意図的な虐待行為は何ですか？
- 2) この事例における非意図的な虐待行為は何ですか？

1) 解答（例示）

・人懐っこい性格も駆使して、Bさんに対しても「父さんがあの世で心配しないようにリハビリがんばろうね」と言ったり、「今日は一杯食べたねー、きっと父さんもあの世で喜んでよ」と言ったりした行為です。

<解説>

Bさんを激励(リハビリに対するやる気を引き出そうとしたり, 食事の摂取量を維持してもらおうとしたり)するためにご主人のことを引き合いに出しています。ご主人の気持ちを引き合いに出すことの是非については十分に検討しなければいけません。Bさんが亡き夫についてどういう風に考えているのか, どういう風にとらえているのか把握しなければいけません。

これらについてきちんと把握することもなく, 安易にご主人のことを引き合いに出して激励する行為は, “亡くなった夫のことを持ち出せば, こちらの言うことを聞いてくれるだろう” という認識が透けてみえます。意図的にBさんの心情をもてあそんでいるとも言えます。心理的虐待行為であると言えます。

2) 解答（例示）

・訪室のたびに写真に向かって「父さん, 待っててね。これから母さんを食事に連れて行きますから」や, 「父さん, 母さんをレクに連れて行きます。お留守番, よろしくお願いします」などと話しかけた行為です。

<解説>

Aスタッフは自分のことを人懐っこい性格であると認識しています。亡くなったご主人の写真に自分が気軽に話しかけることで, 自分とBさんとの間にはとても親密な関係ができたと思っていてもらっていると考えているのではないかと思えます。これはAスタッフの単なる錯覚にすぎません。

Bさんの心情を適当にとらえているのではないと思いますが, Bさんの気持ちを大切に考えて行った行為であるとは言えませんので, 非意図的な心理的虐待行為であると考えます。

<総合解説>

信頼関係の構築(ラポール形成)を目指して, 利用者との関係性をより良好に保つことはとても大切なことです。しかし信頼関係の構築は安易に作れるものではありません。

利用者の気持ちの把握が重要なポイントになっていると思います。安易に亡くなった家族を引き合いに出すという行為は, 心理的虐待になりかねないということを理解しておきたいところです。